

蓄電池等の分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業

資源エネルギー庁省エネルギー・
新エネルギー部
新エネルギーシステム課

令和5年度概算要求額 **59.0 億円** (46.2 億円)

事業の内容

事業目的

蓄電池等の分散型エネルギーリソース（DER）は、電力需給ひっ迫対応や需給調整市場等において活用が進みつつあり、FIP制度の導入等も踏まえ、再エネ導入拡大と電力安定供給の実現等のため、更なる活用機会の拡大が期待されています。

本事業では、DERの活用拡大と再エネ有効活用に向け、再エネも含めたDERのアグリゲーション技術の確立、制御技術の高度化、系統混雑対策にDERを活用するフレキシビリティ技術等の開発・実証を行い、アグリゲーション関連ビジネスの発展とカーボンニュートラルの達成を目的とします。

事業概要

(1) 再エネ発電等のアグリゲーション実証

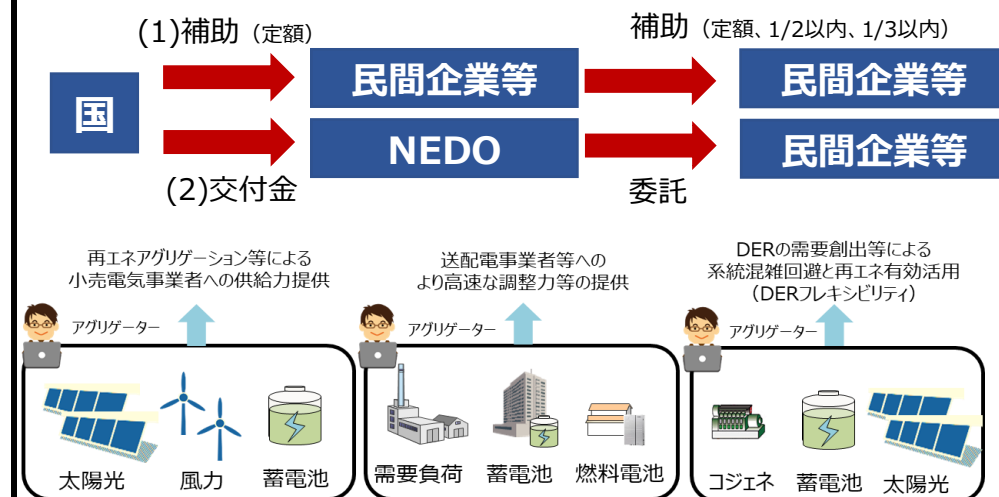
①再エネアグリゲーション実証：天候急変等に伴う再エネ発電量の変化を複数の再エネや蓄電池等のDERを組み合わせて補正する技術や、卸市場価格の動向に合わせ蓄電池等も活用した売電タイミングのシフトによる収益性の向上、またこれらを支える発電量予測・卸市場価格予測技術等の向上等の検証を行います。

②DERの更なる活用に向けた実証：今後運開する需給調整市場（一次調整力等）や容量市場（発動指令電源）への対応や、電力需給ひっ迫等に対応する経済DR等に取り組むアグリゲーターの技術の高度化・育成を行います。

(2) DERを活用したフレキシビリティ技術開発（NEDO事業）

再エネを更に有効に活用するため、蓄電池等のDERを活用して配電系統の混雑を緩和するフレキシビリティ技術の実用化に向け、DERフレキシビリティシステムの開発及び実証等を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

本事業は令和3年度から令和5年度までの3年間の事業であり、最終年度である令和5年度は、今後開設予定の電力市場要件等に即したアグリゲーション技術の高度化や育成、またDERを活用したフレキシビリティ技術の社会実装に向けた技術開発・実証準備を行い、DERの活用拡大と再エネ有効活用に向けた環境整備を図ります。また、その中で制御する分散型エネルギーリソースの規模を100MWとすることを目指します。